

輝く地域のパートナー



経営管理委員会会長
伊藤 茂



代表理事理事長
武村 勉

ごあいさつ

平素より私ども長野県信用農業協同組合連合会をお引き立ていただき誠にありがとうございます。

当会は、昭和23年の設立以来、皆さまのご愛顧、ご支援をいただくなか、相互扶助精神のもと、農業専門金融機関として県下JAと一体となり長野県農業の発展と農家経済の向上を金融面から支援させていただくとともに、地域金融機関として地域社会、経済の持続的発展に貢献すべく歩んでまいりました。特に、JAグループの経営基盤である農業は、自然災害や天候不順等、自然環境に大きく左右される産業であり、令和元年度には凍霜害や豚熱被害をはじめ、10月の台風19号による災害では県内の広範囲に亘り、農業に対しても甚大な被害を及ぼしており、今後被災者の皆さまへの支援は長野県JAバンクの使命であると認識しております。

私どもの経営理念「いのちを育む農業を基本に据え、安全安心な生活環境・地域づくりを限りなく支援します」を実現すべく、事業機能の絶えざる革新や財務内容の健全・充実化に総力を結集し、会員、地域の皆さまに貢献する地域金融機関として鋭意活動してまいりますので、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年度は、新たな中期3カ年計画のスタートの年度であり、掲げた7つの基本方針においては、これまでの取り組みに加え、JAの組合員・利用者のライフプランを支援する「ライフプランサポートの実践」や、JAネットバンク等の非対面チャネルの強化や店舗機能の見直し等、効率的なJA運営体制の構築を支援する「組合員・利用者接点の再構築」といった、新たな施策にも取り組んでまいりました。

長野県JAバンクの県域機能を担う組織の役割として、これからも財務の健全性と目標利益を確保し、「持続可能なJAバンク経営基盤の確立・強化」と適正な会員還元の実現に向け全力で事業を展開してまいります。

この度、当会の業務内容、活動状況等について皆さまにご紹介するため、ディスクロージャー誌「長野県信連の現況2020」を作成いたしました。特に財務諸表については、当会の活動結果をご確認いただくうえで極めて重要な情報であることを認識し、信頼性確保に努めております。この小冊子により当会に対するご理解を一層深めていただければ幸いです。

令和2年7月

経営管理委員会会長 伊藤 茂
代表理事理事長 武村 勉